

第23回八王子市地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日 時	平成26年5月20日（火） 10:00～11:40
場 所	八王子市学園都市センター 12階第一セミナー室
議 題	<p>議事</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 八王子市地域公共交通活性化協議会 構成員の変更について (2) 第22回八王子市地域公共交通活性化協議会 議事要旨 (3) 平成25年度事業報告及び平成25年度決算について (4) 平成26年度事業計画（案）について (5) 八王子市の公共交通のあり方（案）及び地域交通事業導入ガイドライン（案）について <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 小津町地域バス及び降宿醍醐地域タクシーの乗車状況について (2) （仮称）八王子市交通マスタープランについて <p style="text-align: center;">そ の 他</p>
<p>●議事(1) 構成員の変更について</p> <p>【事務局説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 構成員である星野氏が入院中で代理出席も難しい状況であるため、事務局として「八王子市地域公共交通活性化協議会」構成員の任を解く必要がある旨説明を行った。 <p>【主な意見、質疑】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし【本件については、事務局提案の内容で合意が得られた。】 <p>●議事(2) 第22回八王子市地域公共交通活性化協議会 議事要旨</p> <p>【事務局説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回の協議会について、議事要旨に基づき内容について説明した。 <p>【主な意見、質疑】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし【本件については、事務局提案の内容で合意が得られた。】 <p>●議事(3) 平成25年度事業報告及び平成25年度決算について</p> <p>【事務局説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小津町地域・降宿醍醐地域の2事業に関する決算の説明を行った。 <p>【主な意見、質疑】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし【本件については、事務局提案の内容で合意が得られた。】 <p>●議事(4) 平成26年度事業計画（案）について</p> <p>【事務局説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小津町地域及び降宿醍醐地域のH26年度事業計画（案）について説明した。 <p>【主な意見、質疑】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (委員) <p>これまでずっと実証実験が行われてきたが、H25年度の評価を踏まえて、今後は、どうい</p>	

目標で H26 年度を実施するのか。又、資料 5「補助金」と「負担額・負担金」の 2 つの表記があるが相違があればお聞きしたい。

⇒ (事務局)

・H25 年度の評価と H26 年度の目標については、現在、地域公共交通活性化協議会の中で「新たな導入ガイドライン (案) 等」の議論を行っているところである。現在検討していただいているガイドライン (案) の中で、具体的にどのような指標で進めていくかを決めたい。その意味で現在は実証実験の形で運行を前年度の様子を見ながら取り組んでいるところである。

・「補助金」と「負担額・負担金」という言葉の使い分けについては、「補助金」に統一し訂正させていただく。

(会長)

・「収支率」「乗車率」両方を評価基準と設定する考え方の根底には、地域交通をいかに長く続けていけるかということに主眼がある。

・「収支率」については一定の収支率がないと結局、利用者、事業者、市のうち誰かが収支を賄えない部分を負担することになり、負担があまり大きくなると事業が継続できなくなってしまう。そのため、ある程度の事業性は担保していく必要がある。

・「乗車率」は、本当に地域交通がその地域の人達に役に立っているかという評価。空気を運んでいても (乗客が乗っていないなくても)、いいというものではない。特に地域交通は市の税金を補助金として投入しているので、全体的な市民のコンセンサスを得るためにも、きちんと使われているということを担保していかないといけない。そういう意味で「乗車率」「収支率」両方の基準で判断をしていきたい。

・評価基準なので何らかの数字を持って判断することにはなるが、足切りをするための数字ではないと考えている。

・これから皆さんに議論していただくことなので、申し上げることは私の思いが入るが、例えば 25% を一つの基準として、それが実際どうだったかについて、この協議会で実態などを加味しながら判断をしていくための評価基準だと思っている。私の思いが入っているので押し切るわけにはいかないが、そんな考え方があるということで今後の議論をしていただければありがたい。

(委員)

・収支率 25% の数字は数字として大事にしたいと思うが、今後他の自治体での実績等を参考にと書いてあるが今既に対象となる候補があれば、教えていただきたい。

⇒ (事務局)

・他の自治体での取り組みは、概ね把握している。八王子市の「導入ガイドライン (案)」に照らし 25% か 20% か行政内でも議論させていただき、チェックしていくことになるが、「収支率」と「乗車率」を同じ指標として取り扱うかは今後の検討とさせていただきたい。

・ 議事(3) 議事(4) 【本件については、事務局提案の内容で合意が得られた。】

●報告事項

(1) 小津町地域バス及び醍醐・降宿地区タクシーの乗車状況について

・小津町の 3 月までの平均乗車人数は 24.2 人 前年度比 11.1% 減となった。

小津町の児童数の報告を行った。

・醍醐・降宿地区の 3 月までの平均乗車人数は 6.2 人 前年度比 6.0% 増となったが

2 月の乗車率が下がったのは降雪影響と考えられる。

【主な意見、質疑】

(会長)

・H24 年度から H25 年度にかけて小学生が 2 人減った分を、運行日×2 で計算すると大体乗車人数が減った分と考えていいと思う。乗車人数が減った原因として一つは、小学生の動

向によって小津町のバスの（乗車率）動向がかなり左右されているという点で、もう一つは、雪の影響が出ていると思う。

- ・乗車率は若干減少したが、実際の利用世帯は大きくは変化していないと考えられる。事務局で何か分析しているか。

⇒（事務局）

- ・小学生の人数が減ると現在の運行本数や車の大きさ等が適正か等の議論になる可能性がある。今後詳細な分析が必要ではあるが、小学生が減少していくため、スクールバスとしての利用者が減少するという懸案事項があるというご報告だけさせていただきたい。

(2) (仮称) 八王子市交通マスタープランについて

【事務局説明】

- ・平成17年に策定した「新八王子市総合都市交通体系整備計画」を現在改訂中である。
- ・(仮称) 八王子市交通マスタープラン策定状況として、概要及びこれまでの計画、今後の公共交通の考え方（案）について説明を行った。

【主な意見、質疑】

(委員代理)

- ・話の中にあつた「地域公共交通活性化及び再生に関する法律の一部を改正する法律案」が参議院で5/14可決され、成立した。今後今年の秋頃予定で施行準備となっている。今後の流れとして、同法の政令省令もしくは通達などの運用基準の作成が進んでいくことになる。今後動きがあれば情報提供させていただく。

●その他

(事務局)

- ・参考として平成26年4月13日付け朝日新聞の記事を掲載させていただいた。
この中で住民の生活の足の確保が課題となっており、様々な取り組みが報告された。地方都市だけではなく、小津町地域の様子が紹介された。
- ・また5月13日の朝日テレビ系の「モーニングバード」という朝の情報番組の中でも小津町地域の地域公共交通について紹介されたので、参考までに報告させていただく。

(会長)

- ・補足すると、私は記事にある青森県鱒ヶ沢町でアドバイザーとして関わったが、基本料金を払う代わりに住民が回数券を購入するという住民負担の先駆けとなった地域である。

【主な意見、質疑】

特になし

以上